

2022年5月12日

各位

会社名山喜株式会社
(コード 3598 東証スタンダード市場)
代表者名 代表取締役社長 白崎 雅郎
問合せ先 管理部門長 中田 一裕
(TEL 06-6764-2211)

**特別損失(事業構造改善費用)の計上及び繰延税金資産の取り崩し
並びに2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)において、特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しとともに、2022年2月9日に公表いたしました、2022年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社グループは、2022年3月期連結累計期間において、2021年11月1日にお知らせいたしました、市川物流センターの閉鎖と物流業務移管に伴う諸費用70百万円を特別損失(事業構造改善費用)に計上いたします。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

現時点で将来課税所得を保守的に見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を52百万円取り崩すこととし、法人税等調整額に計上いたします。

3. 2022年3月期 通期業績予想の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	(百万円) 10,300	(百万円) △880	(百万円) △750	(百万円) △990	円 銭 △69.87
今回業績予想 (B)	9,662	△1,026	△957	△1,336	△94.30
増減額 (B-A)	△637	△146	△207	△346	—
増減率 (%)	△6.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期通期)	10,333	△1,293	△1,206	△1,491	△105.30

4. 業績予想修正の理由

2022年3月期の業績予想につきましては、緊急事態宣言やまん延防止重点措置の発出などの、新型コロナウイルス感染症の影響とコンテナ不足に端を発した物流面での納期の遅れ及び工場生産枠の逼迫による製品納期の遅れが発生し、シャツの実需期である2月、3月も、厳しい事業運営を強いられました。そのような状況の下、物流費や人件費などの経費削減に取り組みましたが、売上高の減少により営業利益及び経常利益につきましては、前回予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の修正に加え、特別損失において、市川物流センターの閉鎖と物流業務移管に伴う特別損失を計上したことや、繰延税金資産の取り崩しを行い、法人税等調整額を計上したため、前回予想を下回りました。

以上